

# NEWSLETTER

## The Japanese Association for Arid Land Studies

### 国際沙漠会議 (ICAL1/DT10) の開催報告

日本沙漠学会は2011年5月24日～28日の日程で、沙漠に関係する研究者等による第1回国際沙漠会議「The 1st International Conference on Arid Land (Desert Technology X)」を千葉県成田市 (ホテル東横イン成田空港) および東京農業大学世田谷キャンパスにて開催いたしました。

この国際会議の原点は、1991年に沙漠化対策技術の観点から世界の技術系研究者が一同に会する会として「第1回国際沙漠技術会議 (Desert Technology)」が開催されたことです。その後、日本を含めた様々な国々で2～3年ごとに過去9回開催されてきました。

このたび第10回目となるのを機に人文社会経済分野の研究者を加えて沙漠に関する総合的検討を行う場として開催したものです。

本年3月の東日本大震災とそれに伴う原子力発電所被災問題の中、開催を危ぶむ声もありましたが、成田、東京での危険度は低いと判断し予定通り開催しました。その結果、中国からの参加者はありませんでしたが、29カ国142人 (うち海外からはインド、チュニジア、ウズベキスタン、アメリカ、オーストラリア、エジプトなどから65人) の参加者を得て盛大な会となりました。発表は日本沙漠学会大会との合同シンポジウムを加えて口頭発表55件が以下のセッションに分けて行われ、ポスター発表46件を併せて合計101件の発表があり、海外研究者を含めた活発な議論と交流が行われました。

#### Keynote Addresses

Oral Session A "Controlling the Alien Invasive Species"

Oral Session B "Soil Management"

Oral Session C "Valorization of BioResources"

Oral Session D "Vegetation"

Oral Session E "Hydrology"

Oral Session F "Food Production"

Oral Session G "Desertification and Meteorology"

Oral Session H "Water Management and Energy"

Oral Session I "Arid Land Water Cycle" (Joint Symposium)

Oral Session J "Culture and Life" (Joint Symposium)

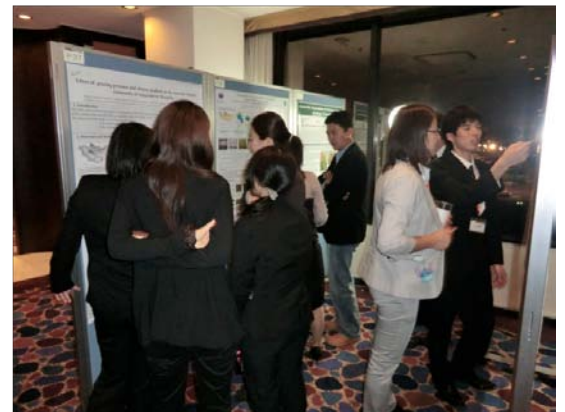
また、期間中に成田山新勝寺等へのミニツアーが行われ、成田市のボランティアガイドの説明もあったことから海外参加者に好評でした。さらに成田会場の講演会終了後の懇親会では成田市の有志による獅子舞が披露されるなど、日本文化に触れる機会もあり、最後に、次回の開催国としてアメリカのテキサス大学W. Payne教授より、2013年9月頃に開催を予定しているとの紹介がありました。

具体的な発表テーマなどの概要および発表風景や懇親会などの状況は国際沙漠会議 (ICAL1/DT10) ホームページ (<http://jaalsdtx.jimdo.com/>) に掲載されているので、是非ご覧下さい。

(文責: 豊田裕道)



講演会場の様子



ポスター発表



Conference Dinnerの獅子舞



テキサス大Payne教授による次回開催地の紹介舞